

## 1. ベルギーの政治動向

### (1) フランダース政府、新型コロナ危機関連の企業向け支援を 9 月まで延長

フランダース政府は、宴会場やディスコなど依然として新型コロナ危機の影響を大きく受けている企業に限定して、企業向けの支援を 9 月末まで継続すると発表した。売上げが 2019 年比で 60%以上減少した企業に対して、2019 年同月の売上げの 10%を支給する。従業員数によって支給額の上限などが変わるため、詳細は当局に確認する必要がある。また、フランダース政府は、営業を再開するための物品やサービスを購入するための資金を融資する「リスタート・ローン」の延長も決定した。(2021 年 8 月 6 日)

### (2) コビット・セイフ・チケットの活用開始

連邦政府の 7 月 13 日の発表に基づき、8 月 13 日から、1,500 人以上が集まる屋外イベントで「コビット・セイフ・チケット (Covid Safe Ticket)」の活用が始まった。同チケットは、新型コロナウイルスのワクチンの接種完了や、回復または検査の陰性証明となり、提示すると、マスクの着用や社会的距離の確保などのルールが免除される。9 月 1 日からは、1,500 人以上が集まる屋内イベントでの活用も始まる。(2021 年 8 月 13 日)

### (3) アフガニスタン情勢についてベルギーの姿勢を説明

アフガニスタン情勢について、連邦政府のソフィー・ウィルメス外相は、臨時外務評議会において、ベルギーの姿勢を説明した。ベルギーにとっての最優先事項は自国民と過去 20 年にわたってベルギーに協力してきたアフガニスタン人の国外退避だとし、そのために米国および関係各国との緊密な連携、協力が不可欠であるとした。一方で、ウィルメス外相は、カブール空港への外国機のアクセスについて、場合によってはすぐに到着させられない可能性があると同関係国外相と共に懸念を示したと説明。カブール空港の発着枠の割り当ての透明性確保や、米国ができるだけ長く空港の機能維持をすることが重要だと述べた。また、中期的な対応について、ベルギーはアフガニスタン情勢の安定や治安維持、特に女性と少女について人権の尊重を目標として、包括的かつ交渉による政治的解決策を改めて求めるとした。(2021 年 8 月 17 日)

#### **(4) 連邦政府、9月以降の夏の緩和計画を発表、レストランやテレワークなどで規制緩和も、ブリュッセルは当面除外**

連邦政府は、9月1日から実施する緩和計画を発表した。主な内容は、①自宅や観光宿泊施設における受け入れ人数制限の撤廃、②企業に対しテレワークを（労働形態の）枠組みとして定着させるよう促進、③カフェ、レストランなどの飲食店に対する営業時間、1テーブル当たりの着席可能人数、社会的距離の確保などの制限の撤廃。また、ワクチンの接種率を上げるために、必要な場合はイベント以外の活動のために「コビット・セイフ・チケット（Covid Safe Ticket）」の活用を準備する可能性もコミュニケーションに付与した。一方で、ブリュッセル首都圏政府は、ワクチンの接種率が低いことを理由に、当面の間、レストランなどの外食産業とテレワークに関する規制緩和を9月1日に行わない旨を発表した。規制緩和時期に関する発表はなかった。（2021年8月23日、8月27日）

★詳細はジェトロビジネス短信（2021年8月30日付）に掲載：

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/08/9c31b10ede1e5b65.html>

#### **(5) ブリュッセル首都圏政府、ワクチンキャンペーンを発表**

ブリュッセル首都圏政府は、同地域のワクチン接種率を引き上げるためのワクチンキャンペーンを発表した。主な内容は、①バスなどを活用し、接種率が低い地区や人通りの多い地区で接種を行う、②（大）企業や公的機関と共同で従業員とその家族を対象としたワクチン接種の機会を提供する、③教員とその家族、12～17歳の生徒とその家族を対象とした学校でのワクチン接種、④大型商業施設でのワクチン接種。ブリュッセル首都圏地域のワクチン接種率はコミュニケーションによって大幅に異なる。オーデルゲムやウォルウェ・サン・ランベールなどでは接種率が70%を超えるものの、モーレンベークやサン・ジョスでは50%に達していない。（2021年8月23日、24日）

#### **(6) テロの可能性を受け、アフガニスタンからの退避終了を発表**

連邦政府のアレクサンドル・ド・クロー首相は、アフガニスタンからの国外退避作戦の終了を25日夜に決定した。ド・クロー首相はその背景について、カブール空港からの退避作戦は開始当初から混乱を極めて危険だったものの、米国ほか複数の国からテロリストによる差し迫った自爆テロの可能性を示唆する報告があるなど、25日に現地の状況がさらに悪化したため、撤退期日としていた8月末の前に作戦を終了すると説明した。また、空港までのアクセスが非常に限られ、少数しか空港内に入ることができないとした。さらに、

今後数日間でカブール空港は閉鎖される見込みで、軍や外交官など国外退避が必要な人々の退避ができなくなる状況避けたいと続けた。(2021年8月26日)

★詳細はジェットロビジネス短信(2021年8月27日付)に掲載:

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/08/1dead1762f829575.html>

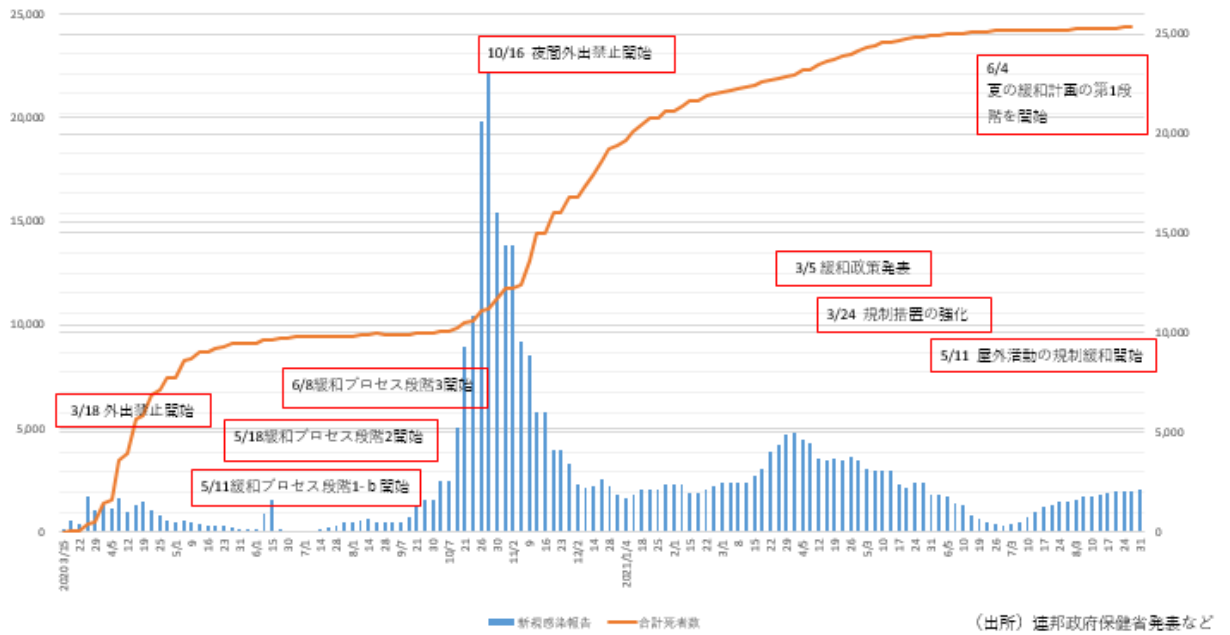
#### **(7) ブリュッセル首都圏政府、新たな新型コロナ危機関連の企業支援策を発表**

ブリュッセル首都圏政府は、依然として新型コロナ危機の影響を大きく受けている文化・イベント産業や観光産業などを対象とした合計6,100万ユーロの支援策を発表した。2020年第2四半期から2021年第1四半期までの売り上げが前年同期比で40%以上落ち込んだ企業を対象に7,000~27,000ユーロが支給される。産業部門、従業員数、売り上げの減少率によって、支給額が異なるため、詳細は当局に確認する必要がある。(2021年8月31日)

#### **(8) 新型コロナウイルス、感染者数は安定も、死者数は増加傾向示す**

ベルギーにおける過去7日間の新型コロナウイルスの1日当たりの平均感染者数は、2021年8月3日時点では1,557人(前週比5.0%増)、8月31日には2,012人(前週比3.0%増)となり、新規感染者数は安定している。一方で、8月末の1日当たりの平均死者数が5.6人となり、前週比15.0%増となった。8月末日時点で、18歳以上の人口の約85.2%で1回目のワクチン、83.2%が2回目のワクチン接種が完了した。

ベルギーにおける新型コロナウイルス感染者数等の動向



※右軸は合計死者数、左軸は一日あたりの新規感染報告数

## 2. ベルギーの経済動向

### (1) フランダース地域、7月の休職中の失業者数は前年同月比13.0%減

フランダース地域の就労支援機関VDABは、2021年7月の求職中の失業者数は28万9,269人（一時帰休の対象者は含まず）となり、前年前期比13.0%減だったと発表した。また、同月の求人件数は2万8,262件と、前年同月比64.7%増となり、他の統計同様、経済回復の兆しを示している。前年同月比で特に求人件数が増加したのは金属、建材、エネルギーだった。（2021年7月）

### (2) ブリュッセル首都圏地域、7月の失業者数は前年同月比1.1%増

ブリュッセル首都圏地域の就労支援機関アクティリス（Actiris）は、2021年7月の求職者数は8万8,587人、前年同月比1.1%増だったと発表した。失業率は15.6%となり、前年同月比で0.2%悪化した。一方で7月の求人件数は4,572件と、前年同月比で大きく増加したが、新型コロナ危機の影響を大きく受けた2020年からの反動増と分析している。（2021年8月3日）

### (3) 第2四半期のGDP成長率は前期比1.7%、前年同期比で14.9%

ベルギー国立銀行（NBB）は、2021年第2四半期（4～6月）の実質GDP成長率を前期比で1.7%（季節調整済み）と発表した。前年同期比では14.9%となったが、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年第4四半期（10～12月）の経済活動の水準を引き続き下回っている。雇用をみると、前期から3万3,900件増加して雇用率は前期比で0.7ポイントの改善、前年同期比でみると1.7ポイント改善した。被雇用者と個人事業者数は、2019年第4四半期と比べると、それぞれ0.2%、2.8%増加し、国内の雇用は新型コロナウイルス感染拡大前の水準に回復した。（2021年8月30日）

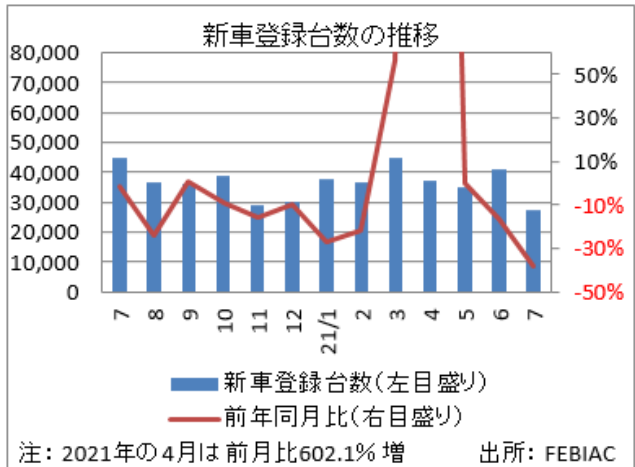
★詳細はジェトロビジネス短信（2021年9月3日付）に掲載：

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/09/fbfd9c1db58cc449.html>

＜月例経済指標＞

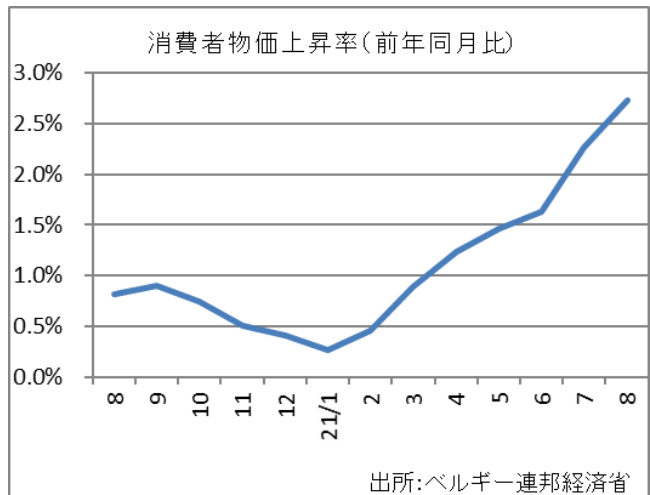
**7月の新車登録台数：前年同月比 38.0%減**

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によると、7月の乗用車の新車登録台数は2万7,596台（前年同月比38.0%減）だった。FEBIACは、半導体不足による生産台数の減少と、暦の関係で営業日が減ったことが影響したとしつつ、特に個人向けの販売が落ち込んでいると分析した。ブランド別シェアはBMWが10.2%と最も大きく、アウディ（9.8%）、フォルクスワーゲン（9.5%）が続いた。（2021年8月3日）



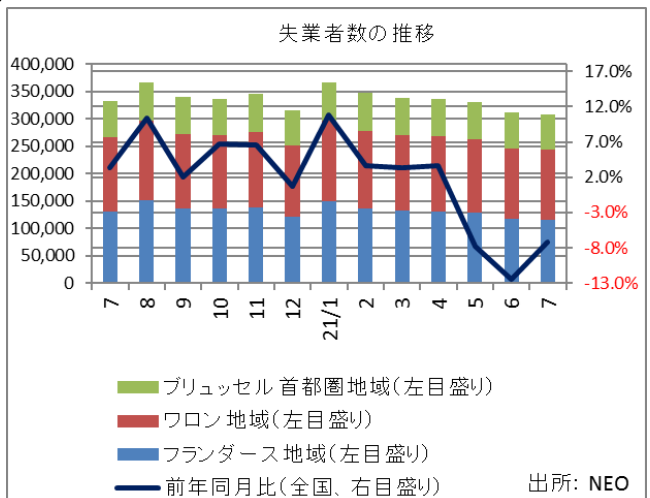
**8月のインフレ率：前年同月比 2.73%上昇**

連邦経済省の発表によると、8月の消費者物価指数は前年同月比で2.73%上昇した。天然ガス、電気、車の購入、パンと穀物、ホテル宿泊費、アルコール飲料、砂糖とその他の菓子、賃貸料、ボディケア製品が値上がり要因となった。他方、海外旅行、航空券、果物が押し下げ要因となった。（2021年8月30日）



**7月の失業手当受給者数：前年同月比 7.2%減**

国立雇用局（NEO）は、7月の失業手当受給者数は30万8,585人（前年同月比7.2%減）だったと発表し、例外的な天候の影響も受け、依然として高い水準にあるとした。地域別にみると、フランダース地域が11万6,300人（同11.5%減）、ワロン地域が12万7,167人（同5.9%減）、ブリュッセル首都圏地域が6万5,118人（同1.1%減）だった。（2021年8月30日）



### 3. ベルギーの産業動向

#### (1) 世界的な半導体不足を受け、ボルボ・ゲント工場、生産を一時停止

世界的な半導体不足の影響を受けて、スウェーデン・ボルボのゲント工場は、8月第3週に3日間、第4週も4日間、生産を一時停止した。そのため、約5,000~6,000人が一時帰宅扱いとなった他、1日あたり約1,000台の車両の生産に影響がでている。(2021年8月14日、21日)

#### (2) ソルベイ、台湾の新光と共同で合弁会社を設立

ソルベイは、台湾の化学繊維製品およびプラスチック製品の製造・販売のシンコン・シンセティック・ファイバー(新光合成繊維股分有限公司)と共同で、台湾の拡大する半導体需要に応えるために、集積回路の生産に必要な不可欠な化学薬品である電子工業用過酸化水素の開発、生産、販売を手掛ける合弁会社を設立すると発表した。2023年第1四半期の生産開始を目指し、まず年3万トンの電子工業用過酸化水素の生産を見込む。(2021年8月25日)

#### (3) 継続的なインフレ率の上昇の一因に光熱費の値上げ

ベルギーの8月のインフレ率は2.73%となり、2019年3月以降で最も高くなった。その背景には光熱費の値上げがある。ガス料金は前年同月比49.4%も上昇し、電気料金は過去最高レベルに達している。2020年のガス料金は、新型コロナウイルスの影響を受けて、非常に低かったことも、ガス料金の上昇の一因ともいえるが、現在は、以前に価格が大きく上昇した2018年の水準も上回っている。現在のインフレ状況に伴い、年金の支給額や公的機関における賃金は2.0%増額となる。インフレ率は2021年1月以降、7カ月連続で上昇し続けている(月例経済指標参照)。(2021年8月30日)

#### 4. EUの動向(～「ジェトロビジネス短信」より～)

(1) 6月の失業率はEUで前月比0.2ポイント改善、ユーロ圏で0.3ポイント改善(2021年8月3日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/76df9efac5cf1977>

(2) 欧州産業連盟、EU経済は回復傾向にあるも内需の回復が必要と指摘(2021年8月4日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/4a0eac7bba9a3fae>

(3) 欧州委、EU加盟国への復興基金の予算執行開始(2021年8月4日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/e32f883edef6faaa>

(4) 欧州委、米ノババックスとのワクチン事前契約承認(2021年8月6日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/e89163e25d604e3f>

(5) EU、アフガニスタンのタリバンとの対話用意ありと表明(2021年8月19日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/b635ac345392efbc>

(6) 欧州委、「EUデジタルCOVID証明書」システムにトルコのワクチン証明書の追加承認(2021年8月23日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/08/ea2f55bd98cfb1da.html>

(7) EU、アフガニスタンからの移民流入を警戒(2021年8月26日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/06e848abe9672f62>

(8) EU理事会、入域制限解除国・地域リストを改定、米国などを除外(2021年8月31日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/08/5402f823783c6897.html>

(9) EUビジネス界、ASEANのエネルギー移行に関するレポートを発表(2021年8月31日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/08/4f6e5a7cf53308a6.html>



(10) 世界の政治・経済日程 (2021年9~11月) (欧州) (2021年8月31日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/08/35d756cba81a89ba.html>

<調査レポートのご案内>

(1)「主要国の2020年の自動車生産・販売動向」より

地域分析レポート「自動車生産・販売に大打撃を受けた2020年」(2021年8月)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2021/8dbdf235697a567b.html>

(2)特集「『サプライチェーンと人権』に関する主要国の政策と執行状況」より

地域分析レポート「域内統一ルールを志向し、多様な手法で人権侵害抑止を狙う」(2021年6月)

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2021/2398dcf082bdfe38.html>

(3)「ベルギーの視点で見るアフリカビジネス - 政府のアフリカ戦略とベルギー企業のビジネス概況 -」

(2021年3月)

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/3a172ef0000b93b5.html>

『ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ』

日本人会商工委員会と日本貿易振興機構(ジェトロ)ブリュッセル事務所は、労務・法務、会計、政策動向、経済情勢など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に4回開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、[belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp) までメールアドレスをご連絡ください

『ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内(法務・労務・税務)』

ジェトロ・ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、またはベルギーに進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルティングサービスを提供しています。ぜひご活用ください。

<サービス詳細・お申込み>

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/beb/consultationsrv>

<お問合わせ先>

ジェトロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp))